The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	一教員から見た推薦入試
Author(s)	神川, 定久
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2016, 27
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/54451
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

一教員から見た推薦入試

大阪府立北野高等学校
神川定久

・私の勤めてきた高校の簡単な紹介

・私の経験した進路指導

・高校から見た推薦入試

・これからの入試？

私の勤めてきた高校

最初はいわゆる困難校

次は学区の２番手校

今はいわゆるトップ校

多少進学校よりですが、いろいろ

私の経験した進路指導

・基本的には生徒の意思で進学

教員はアドバイスはしても指示はしない。

・アドバイスの内容も一般的なもの

モノ作りが好き→工学部

法則そのものに興味が→理学部

医学部に行きたい→本気か！？

・普段の授業態度や成績と、希望に大きなギャップがある時、改善の方向について意見を述べることはある。

・何も決めていない・・・という生徒には「何がしたいの？」といった問いかけをすることはある。

・しかし、「ここを受験しなさい」といった指示はしない。

大学の方の言葉に対する違和感

「授業などで、この人は優れた能力を持っていると感じる生徒さんがおられたら、ぜひ推薦してください。」

「本学は、少人数教育で、卒業までに平均でも２００点以上、人によっては６００点もTOEICの成績をUPさせています。英語の力を伸ばしたいと思われている生徒さんがおられたら・・・」

高校から見た推薦入試

私学の指定校推薦の受験は勧めない
評定平均が4.3あればどこでも受けられ、これから伸びるのにもったいない。

国公立の推薦入試も勧めない
受けても受からないことが多いうえ、気が散るので一般入試の邪魔になる。

一般入試で頑張るのが一番楽で結果も良い。

例外は・・・

はっきりした強い志望動機があって、ある大学のある学部しか行きたくない場合。

例1、ある医科大学のある教授の医療に対する考え方に共感して医者を目指すことにした。 その大学の医学部にぜひ入りたい。

例2、　ある大学のある学部で行っている非常に特殊な環境（極地とか）の実験に興味があり、その大学のその学部の、その研究室にぜひとも入りたい。

でも、これらは推薦入試ではなく、きちんとしたAO入試で対応すべきでは？？

これが推薦入試？（高校側）

- 教員がどこかの大学、学部を勧めることはない（推薦入試でも）
- 受験人数に制限のある推薦入試を制限を超える生徒が希望した場合のみ、教員が受験する生徒を決める。（多くの場合評定平均順）
- あまり適切とは思えない人が希望した場合、止めはするが・・・

これが推薦入試？（大学側　今年度）

TOEFLiBT100点以上？

学部が求める書類・資料	各学部共通に求める調査書等のほか，上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の資料のうち，少なくとも１つ（複数提出可）の提出を求めます。 （１）科学オリンピックなど各種コンテストにおいて顕著な成績を挙げたことを証明する資料 （２）TOEFL iBT 100 点以上もしくは IELTS 7 点以上などに相当する高い英語力を証明する資料 （３）留学経験を証明する資料および，それを今後の国際的な活躍にどのように活かすかを志願者が説明する文章※a （４）科学に関連する，学会・研究会での発表を証明する資料，もしくは作成した論文※b ※上記（１）～（４）の資料の他，課外活動で科学分野以外に特筆すべき成果を示す資料（芸術，運動，ボランティアなど）を添付することも可能です。※c

http://www.u-tokyo.ac.jp/content/400033206.pdf　より

国際〇〇オリンピック日本代表？

【工学部情報学科】

出願資格	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 国際情報オリンピック、国際数学オリンピック、国際物理オリンピックのいずれかにおいて高等学校在学中に日本代表選手候補となった者※ ※ 日本情報オリンピック本選において合格し（Aランク）、春合宿に参加した者 日本数学オリンピック本選においてAAランクとして選ばれ、春合宿に参加した者 全国物理コンテスト「物理チャレンジ」においてチャレンジ・ファイナルに参加した者 4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部情報学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/wp-content/uploads/2015/06/03application_guidelines.pdf より

こんな入試の計画も（２８年度）

受験生、高2生などにプレゼミナール（講義、演習、実験2日）を行って、レポート等の書類審査

英語の授業を受け、レポート作成。
文系は図書館入試、理系は実験入試
（調査、実験、レポート作成、討論、面接など3日かけて実施）

お茶大発　新型AO入試（新フンボルト入試）

目的：「のびしろ」（ポテンシャル）のある学生の選抜

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

本学への効果
- 「とがった」学生受入の波及効果
- 自ら問題を発見する学生の受入
- 主体性のある学生の受入

成果公表
- 特設HPによる成果公表
- シンポジウム開催

入学前教育
- 課題図書・英語教材・eラーニングによる学習・チューター制
- 大学入試センター試験受験

追跡調査
入学後の伸びを調査・分析

センター試験の活用

発信　合格発表　合格者

多面的な選考

第2次選考（3日間）

1日目：模擬授業（英語）を受講し、レポートを作成（文理共通）

文系（図書館入試）
2日目：大きなテーマ（課題）を出題、本学図書館を自由に使ってレポート作成、発表
3日目：午前　審査員講評→図書館にて再調査
午後　再発表・グループ討論
個別面接

理系（実験室入試）
2日目：講義・グループ実験・レポート作成・討論を2セット（午前・午後に各1）
3日目：同1セット（午前）
個別面接（午後）

国際バカロレア資格（IB）の活用

第1次選考（書類審査）

プレゼミナールのレポート、外部外国語試験（TOEFL等）など

外部外国語検定の活用

高大接続の試み

プレゼミナール（2日間）　対象：受験生、高校2年生、高校教員

本学にて文理複数科目の講義・演習（実験）と情報検索・レポートの書き方講座を受講
受講後、新AO入試受験生のみレポートを作成・提出
※院生などを補助者としてつけ、講義や実験の運営を円滑に進める。

出願（志願者）・参加申し込み（受験生以外）

実施体制

外部評価委員会
関東地区公立女子高校SSHコンソーシアム（既存）から1名
同上SGHコンソーシアム（今後組織）から1名
都道府県教育委員会指導主事から1名
大学入学者選抜専門家から1名
お茶大附属高等学校副校長

評価　報告

学長
- 実施：AO入試専門部会（専門教員を含む）
- 企画・運営：教育担当理事・副学長

AO入試専門部会（専門教員を含む）→ 出題各学科・教員

入試推進室（専門教員を含む）
- 助言
- 意見交換

入試課
- 意見交換
- 広報：高等学校（SGH、SSH）／1都5県教育委員会／お茶大附属高校

参加者のメリット
- 大学の講義を体験できる
- 次年度の入試に備えて
- 高校教育への効果波及
- 情報収集力表現力を涵養する教育の提示

http://www.ocha.ac.jp/news/h260822/h260822_2.jpg　より

「新フンボルト入試」 文系　図書館入試

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

プレゼミナール

高大接続の効果がある

・模擬授業を文・理で複数開講（受講対象を広範囲に設定）
・模擬授業を元にレポート作成（基礎学力も確認）

第一次選考

・上記レポートや志望理由書、外国語試験成績等を総合的に評価し選考
・（検討中）国際バカロレア資格保持者は一次選考免除

第二次選考で本学が見たいポイント

英語力・日本語発信力
→リスニングでの理解力、論理展開性、文章表現力

レポート作成力（基礎学力も確認）
→情報収集・検索能力、データ分析、発想の独創性

プレゼン能力
→表現力、説得力

意欲・柔軟性
→学生の「のびしろ」、自己表現力、ディベート能力
コミュニケーション能力、志望動機・意欲、知的好奇心の強さ

ポテンシャルが高い尖った学生を選抜

第二次選考　文系「図書館入試」

9月中旬に3日間かけて実施

1日目 【英語の模擬授業・レポート作成】（文理共通）

2日目午前【課題レポート作成】
・図書館の資料を元に課題に対して答案作成
・課題は大きなテーマ
（ex.*貧富の差をなくすことは可能か？、幸福は分かち合えるか？*）

2日目午後【レポート発表】

3日目午前【レポート内容の再検討】
・試験官より、前日作成のレポートについて講評
・各自再検討し、修正を加え、再度発表・レポート作成

3日目午後【グループ討論、面接】
・レポート課題についての討論
・面接では、志望理由や将来像、高校での学習成果などを質問

ルーブリックに基づく評価基準の策定
【指標】（例、各項目を5段階評価して客観性を担保）

1. 課題の解決に必要な文献、資料等をどれだけ集められるか。
2. 収集したデータや資料を客観的かつ適切に分析し、評価できるか。
3. 自分の見解をいかに論理的に説明しうるか。また独創性をもっているか。
4. 他者に自らの考えを表現力豊かにかつ説得的に伝えられるか。
5. 討論において、他者の異なる主張に対して適切に対応し、回答しうるか。

http://www.ocha.ac.jp/news/h260822/h260822_3.jpg　より

「新フンボルト入試」 理系　実験室入試

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

プレゼミナール

高大接続の効果がある

・模擬授業を文・理で複数開講（受講対象を広範囲に設定）
・模擬授業を元にレポート作成（基礎学力も確認）

第一次選考

・上記レポートや志望理由書、外国語試験成績等を総合的に評価し選考
・（検討中）国際バカロレア資格保持者は一次選考免除

第二次選考で本学が見たいポイント

英語力・日本語発信力

→リスニングでの理解力、論理展開性、文章表現力

実験課題レポート作成力　（基礎学力も確認）

→対象観察、データ引用・分析（再現性、定量化）、データを論理的に考察する力、結論発信力

プレゼン能力

→表現力、説得力

意欲・柔軟性

→学生の「のびしろ」、自己表現力、ディベート能力
コミュニケーション能力、志望動機・意欲、知的好奇心の強さ

ポテンシャルが高い尖った学生を選抜

第二次選考　理系「実験室入試」

9月中旬に3日間かけて実施

1日目【英語の模擬授業・レポート作成】（文理共通）

2日目午前【講義・グループ実験・レポート作成】

・実験室で実験課題を提示（短時間に安全に実施できるもの）
・実験前に、考察に必要な基礎事項と安全事項を講義

Ex.　※ 講義（1時間）→ 演習（1時間）　→結果を基にグループ討論（1時間）
午後「色素の色が溶媒でどう変化するか；物質のエネルギー構造を観測する」

※ 午前の結果を踏まえ，物質のエネルギー＝色に関連した実験を行う。
実験室に試料および実験器具・白衣等を準備、ネット接続は不可
講義（0.5時間）→ 実験（2.5時間；グループ討論含む）　→レポート（1時間）

3日目【講義・グループ討論、面接】

・前日と同様に，実験を1セット実施。（グループは前日と同一とならないように変更）

Ex.　※ 講義（1時間）→ 実験（2時間）　→結果を基にグループ討論（1時間）
「光合成・太陽電池；物質のエネルギー構造を応用する」

・面接では、志望理由や将来像、高校での学習成果などを質問

ルーブリックに基づく評価基準の策定【指標】（例、各項目を5段階評価して客観性を担保）

1. 実験課題の内容を与えた指針に従って正確に把握できるか？
2. 実際の作業のスキルは？
（天秤の使い方や有効数字を鑑みたデータ値の読み方，グループ内での役割分担の仕方等）
3. 実験の実施にあたり独自に工夫できるか？
（例えばモノを早く溶かす工夫，どの試料から測定すれば効率が良いか？等）
4. 実験データの処理を正しくできるか？
（統計処理等，一度きりの観測ではなく再現性を取ってみたか？等）
5. 参考データを正しく読み取ることができるか？
6. 得られたデータを基に論理的な考察ができるか？

http://www.ocha.ac.jp/news/h260822/h260822_4.jpg　より

個人的な感想ですが・・・（まとめ）

- 指定校推薦はあっても良い。
- 一般推薦はいらない。
- 今の一般入試もそれほどひどくはないのでは？
- 本来のAOはあっても良い。
- 講義や実験、レポート、面接などを行って選抜材料にする入試があっても良い。ただし、**休日などで行い授業に影響が出ないように。**

・OpenCource や edX 、 Coursera のようなものを構築するか、そのものを利用して、受験生が取得した単位を点数化する・・・といった入試もあって良い。

http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja https://www.coursera.org/

https://www.edx.org/course/chemistry-life-kyotoux-001x-0#.VQv1dGSsVhk

https://www.edx.org/course/evolution-human-sociality-quest-origin-kyotoux-000x

https://class.coursera.org/crypto-010/lecture/preview

・いずれにしても、本来の高校の授業に支障のないようにしてほしい。

ご清聴ありがとうございました。